

東日本大震災等における災害廃棄物の処理システムや技術情報の整理・分析ワーキンググループの概要

【ワーキングの概要】

環境省では、平成25年度以降、東日本大震災において実施された災害廃棄物処理に係る技術的な知見について体系的に整理したうえで、後世に継承できるよう保存・記録する作業を行ってきた。

環境省では、平成26年度において、「巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会」のもとに「東日本大震災等における災害廃棄物の処理システムや技術情報の整理・分析ワーキンググループ」を設置し、特に混合状態にある災害廃棄物の処理に必要な技術・システムについて情報収集を行い、分析を行った。

平成27年度は、平成26年度に引き続き技術・システム検討WGを設置するとともに、要処理量ワーキンググループを設置し、津波堆積物等の処理技術について情報収集と分析、災害廃棄物の要処理量推計手法の検証や進捗管理方法の検討等を行った。ワーキンググループにおける主な検討内容を以下に示す。

【主な検討内容】

- 災害廃棄物処理の概要等の整理
 - 災害廃棄物処理の概要、用語の定義を検討した。
- 仮置場に関する情報の整理
 - 東日本大震災における仮置場に関する技術情報、主要設備及び安全対策、環境対策等を整理した。
- 混合物の選別技術・システムに関する情報の整理
 - 東日本大震災で実施された混合物の選別技術・システムに関する情報、混合物の処理フロー、混合物の「選別後の組成割合」実績を整理した。
- 津波堆積物の処理技術・システムに関する技術的知見等の整理
 - 津波堆積物の処理技術の事例集、東日本大震災で得られた技術的知見等を整理した。
- 災害廃棄物進捗管理に係る廃棄物の区分及び計量・集計方法の検討
 - 東日本大震災における進捗管理の実態、災害廃棄物区分検討、計量ポイントと集計方法等を検討した。
- 人工衛星等を活用した災害廃棄物発生量の推計手法の検討
 - 災害廃棄物発生量推計手法確立を目的に、人工衛星画像から建物被害を迅速に推計できる手法を提案するとともに、その手法の適用性について検証した。

出典：「東日本大震災等の経験に基づく災害廃棄物処理の技術的事項に関する報告書」（平成29年3月、環境省）
http://kouikishori.env.go.jp/document_video/